

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.4

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43880



120

米大使と参議院の件 (沖縄)
米大使
参議院
米大使
参議院
米大使
参議院
米大使
参議院

極秘

米大使と参議院の件 (沖縄)
43.11.12 米局長

11日他用を以て在京米大使と参議院の件、沖縄問題につき取次かた子と云ふ旨の電あり。

本庄一主席公選は聖憲候補当選確実の事あり。今迄沖縄の事情は去つたかしくな

らる。大使一公選は日本側の要求であり、その結果が

どうなるか取次方ながら。左も参議院を聖憲が執する事案の是非は同じことである

から米國にそのこと同じことである。本庄一「継続協定」は其の執行は火に油を注ぐ

所年の復讐の「西三洋」の巻もあり、沖縄の事情は去つたかしくなることが予想され、更に此等皆

半の復讐復讐といふ可能性を考へれば、いつか
も放つては置けぬ。新内閣の閣内閣の閣内閣

であるか私見によれば、有事における格の相
違ひ、新内閣の閣内閣の閣内閣の閣内閣

なことで、治を始めるしかないと思ふが、その
新内閣の閣内閣の閣内閣の閣内閣

去に於ける大使の私見あり。

大使一治の席の口と云ふことにはなるであろう。又
假にその口と云ふことにはなるであろう。之をどうい

う文章でまとめるか大問題である。自分の見るとして、
新内閣の閣内閣の閣内閣の閣内閣

状況である限り、半の復讐復讐の復讐復讐
これは極秘の閣内閣の閣内閣の閣内閣

米國內で説得するたぐいは、日本の防衛努力に
外務省

付 植たる材料が是れ必要である。単に防衛
姿勢と云ふことではなく、現実に沖縄自衛の防衛
を日軍側が引継ぐの事と云ふことを行つたは
意圖に視得出来たものではある。大塚等の協会
も概念的には同じ問題があつたか、沖縄に
つては、大塚等の協会とは規模の異なる問題
である。防衛が何れかの準備を始めてい
たらどうか。
本館—沖縄自衛の防衛と云ふことは、在沖米軍の
規模と役割のうちには考慮した趣意がある
か、その意は御指摘のとおりなれば、防衛が
行上の研究はあつても、現実に自衛の内閣に
採り上げられていゝることはない。
土庫—は、御側にあると見られるが、いゝるべき

であると思ふ。
折原様下には、自衛が留任中の前提で申上
り、折原内閣閣議録等と折原と意見交換
した上、2月に一時帰国し、両方の事
を、折原は秋の復讐防米及び之に先
立つ外務大臣防米を打ち合せたいと思つて
います。
先般米隊会 Armed Services Committee の古藤の
事務局長が来日した。沖縄を区画して在
沖基地を確保するにせよ協会、70年後は
1年の予定で、沖縄から土庫が行なつたが、
たしなむと云ふのは不意であるから、因り
て意見交換するかと、軍内あり、折原は
迄、折原の問題を考へたことはなかつた。

本誌一先日一新聞記者より、同様の質問を蒙
け、自らは安海等語は確素と云ふが、半同は

平和條約上の権利に基いて沖港に設けら
れる、と云ふより、状況は尋らぬ、と云

ふし、或程 Amersfoort Committee は
と云ふ程兩年に及ぶもの。